



山十組の生糸ラベル

(当館所蔵)

大正5年(1916)、信州の山十組による沼津への製糸工場建設が計画され、翌年3月に開設された。同時期に進出した山一林組の製糸工場とともに沼津町上土字七反田に建設され、これを契機にこの敷地は高島町と命名された。

近代的大規模工場の進出が、沼津の人口増加、経済発展の契機となったわけだが、この工場の誘致に尽力したのが、後に大正15年の沼津大火後の復興部長、太平洋戦争中に市長を務めた名取栄一であった。名取は大正5年に沼津繭市場を開設した。沼津繭市場は全国で最も早い時期に繭の初取引が行われ、全国の繭価格の相場を決定していたといわれている。

山十組は大正14年(1925)10月、有限会社から株式会社に改組。片倉製糸に次ぐ国内第2位の製糸会社で、第一次世界大戦中の軽工業の飛躍的発展の一翼を担ったが、昭和5年(1930)に倒産し、その跡地は昭栄製糸会社沼津工場となった。

二〇一五年七月

通巻
122号

沼津市
史料館
明治通信

企画展に寄せて

沼津と空襲

本年は昭和二〇年（一九四五）の終戦から七〇周年の節目となる。当館ではこれまでに、平成七年（一九九五）の五〇周年に際して「昭和の戦争と沼津」、平成一七年（二〇〇五）の六〇周年に際して「1931 - 1945 沼津と戦争」を開催してきた。また、常設展「沼津の歴史」コーナーにおいても他の時代・テーマよりも大きめのスペースで昭和の戦争について展示しているところであるが、本年も戦後七〇周年特別展として「市民が見た昭和の戦争」を開催する。本稿では企画展に寄せてということで、とりわけ関心の高い「沼津と空襲」について概説する。

昭和一九年（一九四四）七月、サイパン島が陥落し、アメリカ軍の日本本土への空襲が本格化する。当初は、本土の軍事施設を主目標とした高高度精密爆撃であったが、昭和二〇年一月、ルメイが第二爆撃機集団司令官としてグアムに着任すると、攻撃の目標を日本の各都市とする市街地焼夷空襲へと方針を転換した。攻撃目標としておおむね人口規模の順に一八〇都市を選び出し、このうち九三番目に沼津が入っていた。昭和二〇年三月一日の東京大空襲を始めとして、川崎、横浜、名古屋、大阪、尼崎、神戸といった大都市をまづ焦土と化し、その後中小都市へ攻撃するようになった。昭和一九年四月一日の合併（静浦村・片浜村・大岡村・金岡村と合併）によって、沼津市の当時の人口は一〇万人弱となっており、静岡県内では、静岡市、浜松市、清水市に次ぐ第四の都市となっていた。

戦時中を通じての空襲の記録が残っていないため、沼津市域への空襲の全体像はわかっていないが、昭和一九年に愛鷹村東椎路に焼夷弾空襲、同年旧金岡村の東熊堂に爆撃と焼夷弾空襲があり、昭和二〇年には七月一七日の「沼津大空襲」とあわせて九回の空襲があっ

た。このうち、「沼津大空襲」以前の六回爆撃については、爆弾が落下した場所等から推測すると、明確な戦略目標に基づいた精密爆撃ではなく、本土への空襲を行った爆撃機が帰途に余った爆弾を捨てていったものと考えられる。

昭和二〇年七月一日から一七日にかけて、アメリカ軍は沼津・平塚・大分・桑名の四都市の市街地を目標として空襲を行った。沼津は一七日の一時一三分から二時五二分までの約一時間四〇分間、テナアン基地から飛び立ち、御前崎方面から沼津上空に高度約一〇、〇〇〇フィート（約三、〇〇〇m）で侵入した第五八航空団所属のB29爆撃機一九機によって、市街地を焼き払うことを目的とした焼夷弾による空襲を受けた。

この作戦では、狩野川の屈曲点の北西を中心とした半径一、二〇〇mの円を半数必中界として第一目標とされ（左図参照）、M47焼夷爆弾五、七二四発、M17集束焼夷弾三、三二三発（M50が三六五、五三〇個）、E46集束焼夷爆弾四〇発（M69が一、五二〇個）、合計三七二、七六四個（一、〇三五・八トン）の焼夷弾・焼夷爆弾が投下された。沼津の市街地は火の海となり、朝六時頃ようやく鎮火したが、文字通りの焼け野原となった。アメリカ軍の資料によれば、この空襲によって、目標面積三・六平方キロメートルのうち三・二平方キロメートル、目標の八九・五%を破壊したとなっている。

当時の沼津市の報告によれば、一一、八〇二戸が全半焼し（住家九、三四一戸、非住家二、四六一戸）、七七九人の死傷者が出た（死者二七四人、重傷者一五四人、軽傷者三五一人）。焼夷弾は、沼津の市街地だけではなく、東海道沿いの片浜、大岡地区の一部や、金岡、

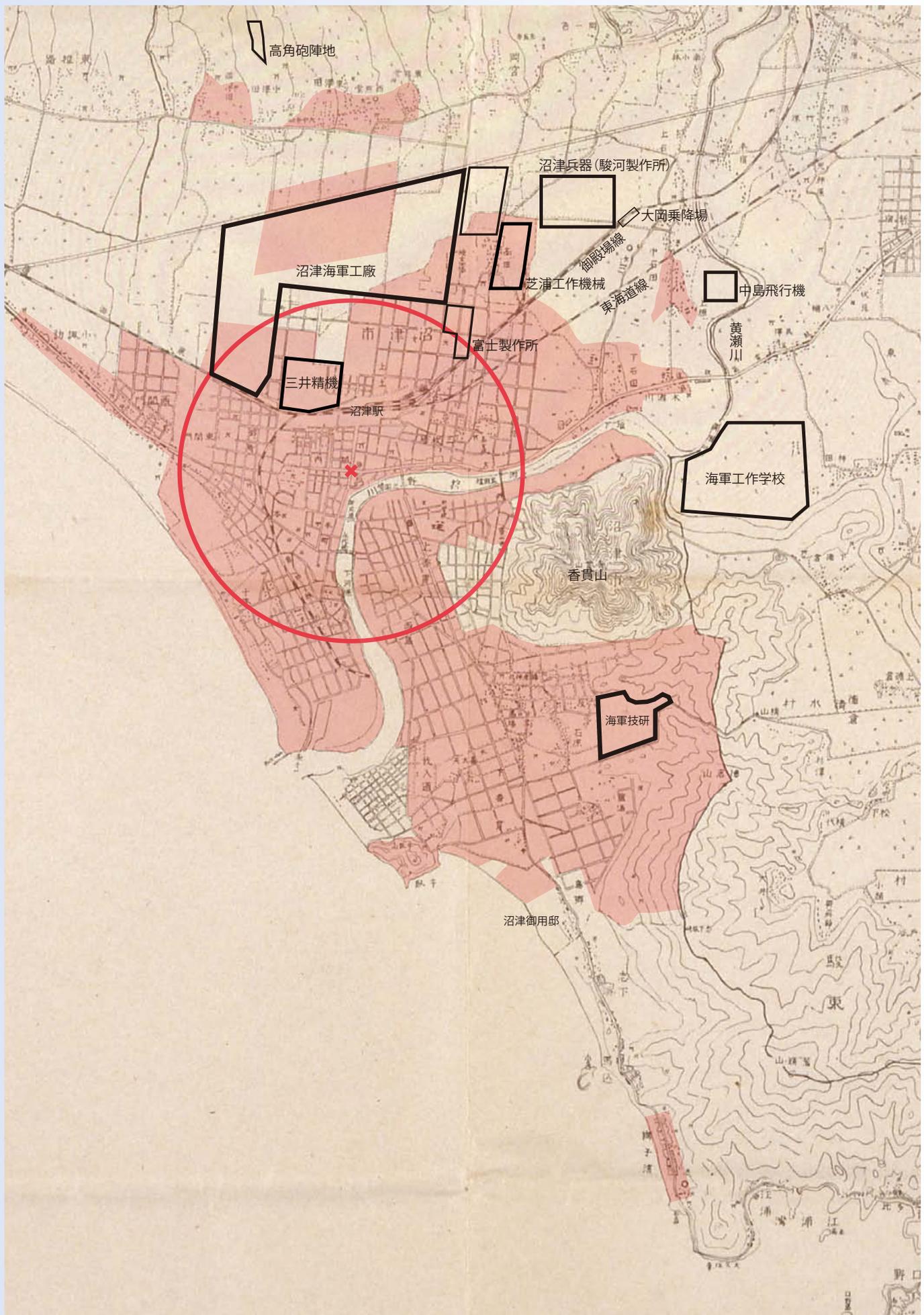
静浦の一部、当時は沼津市ではなかった愛鷹村東椎路など、広範囲に投下され火災を起こした。

沼津が空襲された理由として、海軍技研や沼津海軍工廠を始めとした軍需工場の存在が挙げられることがあるが、米軍の作戦任務報告書を見る限り、軍関係施設の存在は把握していたが、積極的な攻撃理由、目標とはなっておらず、また、実際の攻撃時にも軍関係施設を主目標としたわけではなかった。このことは、軍関係施設が焼けず、戦後になって学校などに転用されたことから明らかである。やはり、沼津が都市であったことが空襲を受けた理由といえよう。



空襲後の沼津市街地
（大野寛良氏寄託）

商工会議所（現在のスルガ銀行大手町支店辺り）の屋上から南を望む。



昭和20年7月17日沼津大空襲の焼失範囲と半数必中界

朱色部分が焼失したとされる範囲。図中の赤色の円は攻撃中心点を大手町交差点と想定した時の半数必中界（半径1,200mの円）を示す。

「沼津市近郊図」（昭和19年3月15日発行・高田区有文書・当館寄託）を基に作図



終戦70周年特別展

「市民が見た昭和の戦争」

平成27年7月1日(水)～8月30日(日)

●ギャラリートーク

7月19日(日) 13:30～
7月30日(水) 11:00～
8月11日(火) 11:00～
8月21日(金) 13:30～
8月23日(日) 11:00～

3階展示室にて
(観覧料がかかります)

●戦争体験を聞く会

7月30日(水)
8月11日(火)
8月23日(日)
いずれも13:30より

3階展示室にて
(観覧料がかかります)

史料館の夏イベント 申込み受付中!

★戦時中のくらしを体験しよう★

戦時中の話を体験者から聞き、その後「すいとん」を作って食べます。近隣の戦争史跡の見学もします。

日時：8月5日(水) 10:00～15:00
対象：市内の小学4・5・6年生
定員：30名(先着順)
参加費：一人24円(保険料)



★平和を考える戦争史跡めぐり★

マイクロバスで市内にある戦争史跡を見学します。

日時：8月9日(日)・8月12日(水) 9:00～16:00
対象：市内の小学生・中学生とその保護者
定員：いずれも23名
参加費：一人24円(保険料)



★高校生のための一日学芸員体験講座★

「学芸員」についての講義と館内施設や展示の見学、資料を使った実技などを行います。

日時：8月6日(水) 10:00～15:00
対象：市内に在住もしくは通学する高校生
定員：10名
参加費：無料



7月31日(金)までに お電話 (055-923-3335)
または直接来館のうえお申込みください

沼津市明治史料館通信

第122号

平成27年7月25日

編集・発行 沼津市明治史料館
〒410-0051 沼津市西熊堂372-1
TEL055-923-3335
FAX055-925-3018

印刷
みどり美術印刷株式会社

平成27年度古文書入門講座開講のお知らせ

はじめて古文書に触れたいと思っている方に、江戸時代の村明細帳などをテキストにして、くずし字などの読解力を身につけていただける講座です。古文書を通して江戸時代の沼津の歴史や暦・元号などに触れてみませんか？

日時 9月5日、12日、19日、26日、10月3日
毎週土曜日(全5回) 9時30分から11時30分

場所 明治史料館 2階講座室

受講料 無料

講師 大庭 晃(明治史料館非常勤職員)

持ち物 筆記用具、辞書(くずし字辞典など持っている人)

受付 電話、または館へ直接お申込み下さい。

定員 30名(定員になり次第締め切ります)

